

(作成年月日) 2022年12月30日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名]

肝細胞癌・肝硬変・慢性肝炎患者における栄養状態・筋肉量が予後にあたえる影響についての後ろ向き研究

[研究の目的]

各種肝疾患患者さんの栄養状態と筋肉量を評価し、予後との関連を調査することで、将来的には食事療法および運動療法の重要性を示すため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2000年1月1日から2022年12月31日の間に、当院および既存試料・情報の提供のみを行う機関で肝細胞癌および肝硬変、慢性肝炎と診断され、体成分分析装置による筋肉量測定検査を受けた患者さんが対象です。

○利用する検体・診療情報

診療情報：年齢、性別、成因、基礎疾患(糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患・呼吸器疾患・脳血管疾患の既往)、身体所見、血液検査結果、CT検査での腸腰筋面積、体成分分析装置による骨格筋量

[外部からの検体・診療情報の提供]

利用する外部施設所持の診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、電子システムを使用して、下記の既存試料・情報の提供のみを行う機関より本学へ提供されます。

[研究組織]

香川大学医学部附属病院消化器内科 大浦杏子 消化器内科 助教 : 研究代表者

[既存試料・情報の提供のみを行う機関およびその施設の提供責任者]

香川県立中央病院 永野 拓也 肝臓内科 診療科長
三豊総合病院 守屋 昭男 消化器内科 主任部長
高松赤十字病院 小川 力 第一消化器科 副部長

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院消化器内科

担当医師 大浦杏子